

令和5年9月12日
西日本高速道路株式会社

E2 山陽自動車道 尼子山トンネル(下り線)の被災状況および 復旧に関する検討について ～学識者からなる技術検討会を設置～

E2 山陽自動車道(E2 山陽道)は、^{あまこやま}尼子山トンネル(下り線)火災の影響により、9月5日から^{はりま}播磨ジャンクション(JCT)～^{あこ}赤穂インターチェンジ(IC)間の下り線で通行止めとなっています。

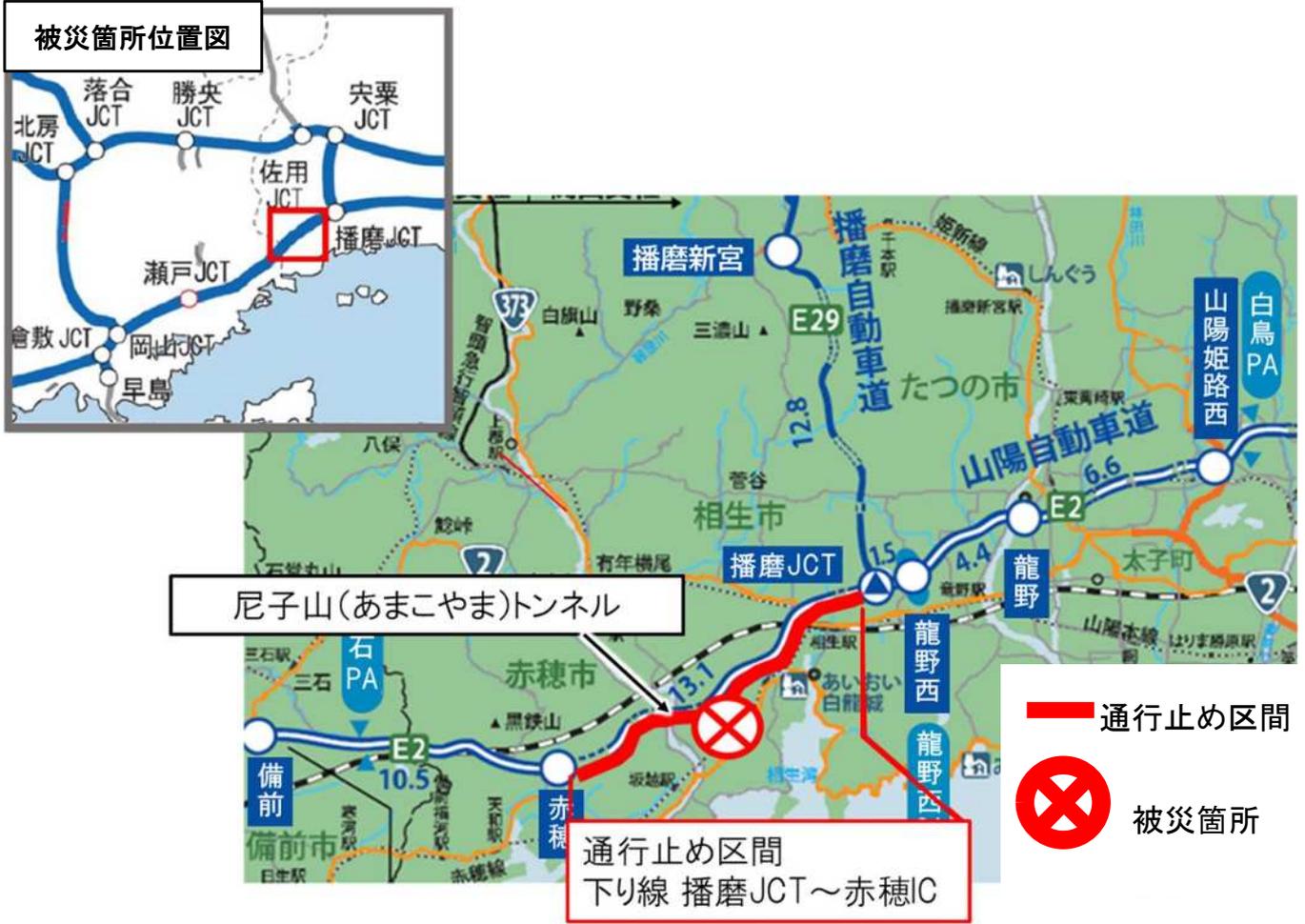
車両火災によりトンネル内には現在も多数の焼損車両やコンクリート塊が残置されている状態です。火災の影響によるトンネルの損傷が甚大であり、通行再開には相当の期間を要する見込みです。(別紙1)

このたび、西日本高速道路株式会社は、学識者による「山陽自動車道 尼子山トンネル火災事故技術検討会」を立ち上げ、早期復旧及び通行確保に向けて安全性の確認や復旧方法の検討を行うこととしました。

第1回技術検討会を以下の通り開催いたします。

1. 日 時 令和5年9月13日(水) 14:30～16:00
2. 場 所 西日本高速道路(株)関西支社 姫路高速道路事務所 会議室
(兵庫県姫路市相野941-103)
3. 議 事 復旧に向けた調査計画の審議 等
4. 委 員 別紙2のとおり

E2 山陽道 尼子山トンネルの被災状況



被災状況



トンネル内部(全景)



火災後のコンクリート表面



トンネル側面の剥離

山陽自動車道 ^{あまこやま} 尼子山トンネル火災事故技術検討会 委員名簿

あぐたがわ しんいち
芥川 真一 神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 教授

いさご のぶはる
○砂金 伸治 東京都立大学都市環境学部 都市基盤環境学科 教授

おおやま おきむ
大山 理 大阪工業大学工学部都市デザイン工学科 教授

きしだ きよし
岸田 潔 京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻都市基盤システム工学専攻 教授

くさか あつし
日下 敦 国立研究開発法人土木研究所 上席研究員

なかの きよと
中野 清人 株式会社高速道路総合技術研究所 道路研究部 トンネル担当部長

にしだ ひであき
西田 秀明 国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室 室長

やまざき てつや
山崎 哲也 株式会社高速道路総合技術研究所 道路研究部 トンネル研究室 室長

(○は委員長)

(50音順、敬称略)